

強みを掛け合わせた事例



設計力 × 施工力 × 事業創造力 × 提案力 × 顧客対応力

HANEDA INNOVATION CITY

国家戦略特区・国土交通省スマートシティモデル事業

「先端」と「文化」を融合させ、新たな体験と価値を創出するまちづくり

プロジェクト概要

「羽田イノベーションシティ(HiCity)」は、羽田空港の第3ターミナル(旧 国際線ターミナル)から1駅の「天空橋駅」に直結する、延床面積約13万㎡超の大規模複合施設です。

「先端」と「文化」の2つをまちのコア産業として、多くの特徴的な機能を内包し、先端技術による実証実験の取組みや、ジャパンカルチャー体験の機会を提供します。また、研究者、クリエイター、国内外からの観光客や来街者など、多種多様な人々が集い、互いに刺激し合うことで「先端」と「文化」が融合し、ヒト・モノ・コトの分野を超えた交流と新たな産業を創造します。未来志向の新たな体験や価値を創出するまちづくりを推進し、日本初のスマートエアポートシティ※を実現します。

国土交通省に選定されたスマートシティモデル事業として、BIMを活用した空間情報データ連携基盤である「3D K-Field®(ケイ・フィールド)」を整備し、3次元空間モデルにおいて施設内で活躍する清掃ロボット、案内ロボットや警備、荷物の配送、自律走行バスの動きを可視化して、管理の効率化や動線の最適化の実現に取り組みます。

※ 空港近接地における大規模複合開発であり、実証実験などの取組みを行うスマートシティのこと

グループの総合力によりプロジェクトを推進

9社が出資するコンソーシアム「羽田みらい開発」の代表企業として、当社の開発事業本部が当プロジェクトの企画・運営を行い、これにグループ会社4社が加わり、それぞれの得意分野を活かし連携しながら事業全体を推進しています。

エリアマネジメントでは、(株)アバンアソシエイツがエリアマネジメント委員会の事務局となり、業務推進の役割とガイドライン作成や関連コミュニティにおける基盤づくりのための検討を行っています。

プロパティマネジメントではイースト不動産(株)※が中心となる役割を担い、鹿島東京開発(株)が「東京イースト21」での実績を活かし、商業をメインとしたサポートを行っています。

また、ビルマネジメントでは鹿島建物総合管理(株)が担当し、建物管理プラットフォーム「鹿島スマートBM」(Kajima Smart Building Management)の導入を計画しています。

※ 2020年10月1日から鹿島プロパティマネジメント(株)に社名変更予定



計画概要

(出資企業9社)

鹿島建設(株)、大和ハウス工業(株)、京浜急行電鉄(株)、日本空港ビルテック(株)、空港施設(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京モノレール(株)、野村不動産パートナーズ(株)、富士フイルム(株)

全体計画：鹿島建設(株)建築設計本部

設計：鹿島建設(株)建築設計本部、大和ハウス工業(株)

施工：鹿島建設(株)、大和ハウス工業(株)

用途：研究開発拠点(ラボ・大規模オフィス)、先端医療研究センター、イベントホール、日本文化体験施設、飲食施設、会議・研修滞在施設、水素ステーションなど

規模：S・RC・SRC造、地下1階・地上11階建、延床面積約131,000㎡

工期：2018年～2022年

開業スケジュール：2020年7月3日開業、2022年グランドオープン



設計力 × 提案力 × 顧客対応力

医薬品施設の運営・管理事業を展開

アステラス製薬の全国の施設管理を一括受託

プロジェクト概要

アステラス製薬(株)の全国の生産4事業所と研究所3事業所における施設の運営・管理業務について、当社エンジニアリング事業本部と鹿島建物総合管理(株)にて一括で受託。アステラス製薬グループの運営管理会社であるアステラスビジネスサービス(株)より施設管理人材を継承し、2017年から建屋や設備機器の点検・保全・補修などの日常管理業務及び、食堂や清掃などの外注管理業務をはじめとした総務業務を実施しています。

高い専門性で顧客をサポート

医薬品施設の施設管理業務には、医薬品の製造管理・品質管理基準であるGMP (Good Manufacturing Practice) や医薬品施設の設備機器への深い理解が求められます。施設の日常管理業務を施設管理の実務に長けた鹿島建物総合管理(株)が担い、医薬品施設の豊富な実績を持つエンジニアリング事業本部が全体統括と専門技術指導を行うことで、各事業所の安定した施設稼働をサポートしています。



設計力 × 施工力 × 事業創造力

シンガポールにおいて Kajima Global Hub (KGH) を建設

建設・開発の事業部門と技術開発部門とのシナジー効果を加速

プロジェクト概要

アジア最大のハブ空港であるチャンギ国際空港から車で5分という利便性の高いチャンギビジネスパーク内に、オフィスと研究施設を兼ね備えた建物を、開発・建設・運営するプロジェクトに着手しました。シンガポール経済開発庁への提案が評価され実現したもので、設計・施工・維持管理の全てのフェーズに日本で培った技術を盛り込むことで、アジア・太平洋地域の人材・企業・投資家・政府に対して、当社グループの持つ先進的な施工技術・施設運営のノウハウを、具現化して提供する場としていきます。

KGH内には、鹿島技術研究所のシンガポールオフィスが研究施設を開設し、技術開発に積極的なシンガポールを舞台に、外部企業、政府機関や大学などのオープンイノベーションを推進します。また、これまでシンガポール内の数か所に点在していたグループ会社をKGHに集約し、建設・開発の事業部門と技術開発部門とのシナジー効果をより一層発現させるとともに、新たなビジネスをインキュベートする場にする事も企図しています。

